

すべての人びとが共に生きる社会を願って

大阪YMCAクリスマス献金のお知らせ

大阪YMCAでは皆様から頂いたクリスマス献金をそのまま、支援を必要とする方々や団体にお渡しするのではなく、大阪YMCAが各地域YMCAを始め日本YMCA同盟や世界中の関係YMCAと協力し、ボランティアとともに主体的に様々な支援プログラムを企画・実施、援助する活動のために使用しています。支援する側とされる側といった視点ではなく、地球上のすべての人びとが、共に生きる社会の実現を願っています。

障がいを持つ人びとと共に

- 聴覚障がい者と手話理解を深める為の手話落語
- 知的障がい児の水泳教室
- 発達障がい児のデイキャンプ
- 発達障がい児の野外・体育教室
- 発達障がい児のホースセラピー
- 障がい児・者および家族ポウリング大会
- 発達障がい児の自立を支援するシンポジウム

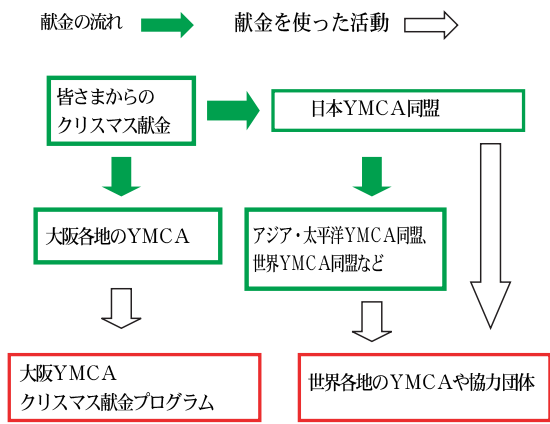
世界の人びとと共に

- 農業を学ぶ外国人留学生研修への協力
- ミャンマーでの人材交流・育成活動支援
- スリランカの内戦・津波被災児童への心のケアキャンプ
- サンフランシスコと大阪の中学生バスケットボール交流
- アジア各国の聴覚障がい青少年国際キャンプ活動
- 大阪YMCAが設置する学校等で学習する留学生への奨学金支援

地域の人びとと共に

- キリスト教への理解を深める講座
- 児童養護施設の児童への招待キャンプ(※2)
- 児童養護施設の児童へのサッカー教室参加支援

【大阪YMCAクリスマス献金の流れ】



- パレスチナやアフガンの難民支援
- 東ティモールでの人材育成活動支援
- 海外の地震・津波等による被災地への復興支援

（日本YMCA同盟を通しての実施プログラム）

- 環境教育セミナー開催
- 地域での子育て支援(※1)
- 独居高齢者の交流活動
- 地域でのカウンセリンググループ開催
- 労災病院小児病棟訪問
- 親子サッカー大会の開催

(※1) 北摂YMCAでは、松尾台幼稚園としろがね幼稚園の両園で地域の家族間交流を深めるための『子育て支援』プログラム『なかよしらんど』を実施しています。毎月交互の会場で地域の方々に、年齢・世代に関係なく、参加していただけるよう案内し、松尾台幼稚園では、リーダーやスタッフによる温かみを感じる紙芝居や人形劇を行い、しろがね幼稚園では、昔話や世界の名作を16ミリフィルムの映写機でカラカラ…とフィルムの回る音をバックに鑑賞しています。年配の方には、懐かしいのではないのでしょうか。それぞれ鑑賞後は、クラフトやそれを使って芝生の園庭で元気に遊んだり、夏には水遊びで楽しみました。クラフトは、ペットボトルや新聞紙を使い、紙飛行機飛ば

みんな、あつまれ！ 『なかよしらんど』



し大会なども行いました。在園の方々と地域からの参加の方々が共に交流を楽しんでいらつしやいます。今後は、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒に来ていただけるような活動になっていければと願っています。YMCAしろがね幼稚園 河合美保

(※2) 今年で2年目になる北YMCAレインボーキャンプがたくさんの方のご支援により継続して実施出来ましたことをまず感謝いたします。北YMCAではスリランカプロジェクト(民族融和と内戦により被害を受けた子どもたちへの心のケアキャンプ)、障がい児・者ポウリング大会、手話落語などのプログラムにみなさまの尊いクリスマス献金を用いさせていただいていますが、様々な議論を重ね「レインボーキャンプ」を新しい献金プログラムとして昨年度から実施することになりました。

レインボーキャンプ (児童養護施設招待キャンプ)

子どもたちにとって、「自然」と触れ合い「人」と触れ合うキャンプに参加することは非日常的な貴重な体験になったことと思います。子どもたちが大声で笑い、全身を使ってはしゃぐ姿を今年も見ることが出来ました。「無人島に来た〜」「ウインドサーフィンのグループに入りたい!」という子どもたちからの声があがりました。その声から新しい「よりどころ」のようなものに対する嬉しさや感激を感じることができました。ボランティア協力をいただいた子どもたちが通う小学校の先生方、施設の指導員の方、そして地域の支援者などの「大人」は、様々な形で子どもたちと寄り添い、見守る大切さや必要性を再確認しました。このキャンプを来年も実施したいと願っております。北YMCA 洪基雄

教育講演会 『教育を共に考える集い』の報告

10月20日(土)YMCA学院高等学校ホールで『教育を共に考える集い』を開催しました。この催しは学校法人大阪YMCAの「YMCA学院高校(通信制)」と国際専門学校高等課程の「IHS」と「表現・コミュニケーション学科」の合同で例年行っているものです。

NHKラジオ子ども心相談のアドバイザーなど、30年以上にわたる経験をもつ内田良子先生の子どもの相談体験を通じたお話は非常に温かく、忘れさられがちな子どもたちの視点でいじめやひきこもり、親や学校の対応について詳しく説明していただきました。

三浦久さんの『それぞれの道』といういじめ体験から生まれた一言一言が重く心に響く曲も紹介されながら話される内容は「何よりもどれよりも子どもの生命が大切」という内田良子さんのメッセージとして子どもたちに関わる私たちに強い戒めと温かさを感じた講演会でした。

その後、関西のフリースクールの皆さんやYMCAの個別のブースでの相談会も開催され多くの方が相談会に参加されました。今後多くの方の問題を共に考えていく機会になればと願っています。

YMCA学院高等学校 池本真

協力会員

- (土佐堀) 衣川孝一郎/澤江 杏/田村美幸(南) 木田美聖/下村智史/關 有貴(かわにし) 扇田綾香/上窪真弓/早川明日子

継続会員

- (土佐堀) 直井秀公/松本雅子(南) 高橋 輝/田代耕二/出口匠子/出口信太郎/中村重悠/延岡正雄/平須賀万貴子/村上 努/山田浩平(北) 金井宏樹/辻本晃秀(高槻) 相澤悠乃/清水 綾(枚方) 谷川 寛(徳島) /野口裕紀/船橋憲吾(六甲山) 藤 孝子(阿南) 長谷川詩津香

(二〇〇七年十月三十一日現在)

継続賛助会社

- (財) 大阪クリスチャンセンター/大阪ガス(株)/大志野産業(株)/関西キリンビバレッジサービス(株)/関包スチール(株)/近畿日本鉄道(株)/三洋商会(株)/宝商事/東洋紡績(株)/ピー・アイ・シー

(二〇〇七年十月三十一日現在)